

Ca拮抗薬とスタチンの長期にわたる生存延長効果

London大学のAjay Gupta氏らは、カルシウム拮抗薬による降圧治療とスタチンを用いた脂質降下療法は、長期にわたって生存利益をもたらすと報告、詳細をLancet誌に掲載しました。



ASCOT 試験参加者をさらに 10 年後まで追跡する ASCOT レガシーコホート研究を行い、参加者の総死亡率と心血管死亡率を調べたところ、ベースラインから通算して中央値 15.7 年の追跡で、プラセボ群よりアトルバスタチン群の心血管死亡率が有意に低く、アテノロール群よりアムロジピン群の脳卒中死亡率が有意に低い結果となりました。

